



# このゆびとまれ



2017. 12月  
文責  
まち協広報部

## 今年一年お世話になりました。発表 ちょこっと重大ニュース！

2017年も終わりに近づき、1週間となりました。本当にあつという間に・・・という感じです。今年を振り返ってみました。

- ★4月桜公園満開、きれいな桜は、見ることはできましたが、大量のブトには参りました。  
9月には、遊歩道 第一弾完成です。遠くから見てよし、夜桜もよし。
- ★宝くじの助成金で、防災の備品を購入しました。投光機も素晴らしいものが手に入りました。  
何事かあってはいけませんが、少しでも安心して住める多里に一步ずつ近づけていきましょう。
- ★多里是好日・・・多里の愛宕さん・宮島さん。人も少なく寂しい町よりちょっとでも元気で楽しい町のほうが元気になるませんか？久々きれいな灯りの祭りが出来ました。やちくそもない!かも知れませんが、何もしなければ、ただたださびれていくのではないのでしょうか？楽しむことから、自分たちの町作っていくことに参加して自分たちの町を作っていく仲間になりませんか？
- ★木星を見る会がありましたね。町外から100人以上の方が多里山村広場に集まって木星を見つけました。遊四季多里の発足にエール。自分の町のすばらしい素材に着目した素晴らしい活動に拍手です。
- ★多里神社の秋祭り・・・注連縄を作るのも大変になってきました。今年は多里一ずのみなさんが注連縄作りの伝承に力を貸してくれたようです。何が何でも一緒にではなく、それぞれの場所・グループで地域を担っていくって素晴らしいことだと思います。頑張れ！多里一ず。
- ★2年ぶりの日南町体育大会。子どもたちの大縄跳び、町報の表紙にもなりましたが、いい笑顔で1等賞でした。息の合ったいい跳びっぷりでした。

まだまだ、たくさんありましたが、どれをとっても地域の皆様のお力添えがなければ出来ないことばかりです。感謝の気持ちで2017年を送りたいと思います。来る2018年もまた良い年でありますよう心からお祈りしております。皆さま 良いお年をお迎えください。 多里まちづくり推進協議会 会長 榎尾稔正

「インバウンド」という言葉を最近よく聞きます。外国人の訪日旅行の意味によく使われます。こんな田舎には・・・と思われがちですが、外国の富裕層の中は、日本の観光地には興味がなくなって、何の変哲もない日常に関心を持つ人も多いようです。また、特別に関心のあるものを旅行のターゲットにする人も多いようです。多里でも国立公園周辺のいろいろな素材について、外国人の方のモニターツアーのようなものがありました。多里地域のオオサンショウウオやそれを含めた自然が、出雲大社と同じく様な高評価だったようです。少数の外国人の向けのツアーが、計画されますので、この機会にお知らせしておきます。日程等詳細はまだです。

地域の技の伝承で山菜の塩漬け・塩出しに挑戦しています。

今年も正月前にホームランド多里に27日に置かせていただきます。ご希望の方は、ご利用ください。

